

第二次国土利用計画（佐久市計画）素案に対する意見募集の実施結果

1 意見募集の概要

（１）意見募集期間

平成２８年１１月２４日（木）から１２月２６日（月）までの３３日間

（２）素案の公表方法

ア 佐久市ホームページへの掲載

イ 佐久市役所本庁市民ホール、企画課窓口、各支所・各出張所窓口に閲覧用として設置

（３）意見募集方法

ア 郵送

イ 電子メール

ウ ファックス

エ 直接持参（佐久市役所本庁企画課）

2 意見募集の結果

（１）提出された意見 １件１名

（２）提出された意見の概要とそれに対する市の考え方 別紙のとおり

第二次国土利用計画（佐久市計画）素案に対して提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

意見要旨	市の考え方
<p>市街地公共交通システムの整備はこれからの佐久市には必要ではないかと考えています。</p> <p>岩村田，中込原，中込，野沢を南北に結ぶ幹線道路（4車線）が整備されており、特に岩村田と中込原の市街地を一体化するため東西に2車線の道路を何本も通し基盤の目の如く、面で市街地開発をしていることから、2市街地をつなげる公共輸送手段の建設こそハード面の総仕上げと考えます。</p> <p>小海線で4地区の移動は可能ですが待ち時間が大きすぎます。少なくとも先述の2市街地を『JR 佐久平駅をキーステーションに、南は佐久医療センターまで、北は小諸市境ツルヤ様）までを『Light Rail Train』で結びます。周辺地域からは従来通りのバスを運行して路線上の直近の停留所で乗り換えます。LRTの運行間隔は短く（1時間あたりの本数増）すれば、今以上に市街地間および周辺地域との相互移動による便益が確保されます。『人・もの・金・情報』のスムーズな移動が交流人口増加をもたらす。また、定住者の維持増加、県外生産年齢人口による保養都市型住居の増加（都会からの移住者転入者定住者のための定住圏拡大）などが見込まれます。住環境の整備や教育教養芸術などの事業の活性化も見据えてLRTを導入すれば、観光のみに依存しないコアな街作りができると確信しています。その一歩には、学齢者と増加の一途を辿る高齢者に優しい現代都市型の移動手段が必要であり、市街地交通網の構築が佐久市に更なる付加価値『魅力』なるものを産み出すと信じます。社会資本建設のための莫大な設備投資費用の財源は如何に？など頭を悩ますことは無限にあるでしょうが、先行投資とともに市外（特に関東および東京等大都市圏）企業に向けた定住呼びかけ、高等教育など学びの場の充実、働く場の確保など、数々の施策を並行して進めます。企</p>	<p>ご意見については、市施策を推進する上で参考とさせていただきます。</p>

業が自社商品を大々的に売り込むと同様に、市が都市のハード&ソフトを売り込む。
新たな佐久市創生につながると確信します。